

なろっこだより

第12号 2024年11月11日(月)

【学校教育目標】

全力・協同・自立・自主

南国市立奈路小学校

TEL 088-862-0161

人権参観日

参観週間にお出でいただきありがとうございました。

11月1日(金)・5(火)～7(木)の人権参観日・参観週間に多くの方々に来校いただきありがとうございました。期間中は、各学級でミニ運動会・お芋ほり・ラッキョウ植え・四方竹見学・租税教室・ふるさとマークづくり等の総合的な学習の時間・特活や各教科の学習を見ていただきました。

保護者のみなみな様が来られると、子ども達もいつにもまして「いい笑顔」「積極的」な授業への三角であったように思います。そして、11月19日(火)に予定している校内持久走大会の試走もあり、沿道での応援と一緒に走っていただいたりとありがとうございました。当日の監事・応援もよろしくお願いいたします。

また、11月1日(金)6時間目に開催した人権教育参観日講演会「子どもの育ちを支える大人の理解と関わり」講師 今西 一仁 先生(兵庫教育大学非常勤講師)にも多くの参加をいただきありがとうございました。先生からは、今の子どもについても見方や背景・実態と子どもとかわる大人の在り方について、大変分かりやすくユーモアあふれるお話をいただきました。教職員一同、保護者のみなさまとともに子どもを支える大人として頑張ろうと思ったことでした。今西先生ありがとうございました。[講演内容概要を裏面に載せていますのでご覧ください。](#)



1年生 国語 校内授業研実施

10月23日(水)に中部教育事務所 大谷 彩 指導主事をお招きし、教材名「いろいろなふね」の校内授業研を行いました。研修主題「少人数・複式学級において主体的に学び合う児童の育成をめざして～読む力・伝え合う力を育てる国語科の授業づくり～」にそって講話をいただきました。大谷先生から、「待つ姿勢が素晴らしい。」「発表の仕方も手立て(前を見て、指差しして等)がしっかりとられている。」など評価をいただきました。教え合い学び合いも楽しくできていました。

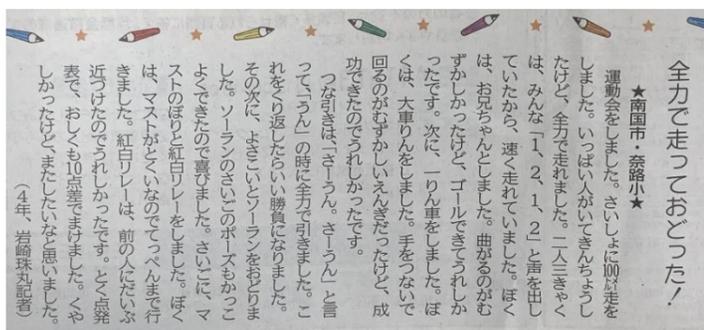
確かな学力の獲得・定着を目指して頑張ります。



高知新聞の読もっかに掲載

4年生岩崎珠丸くんの記事が11月10日(日)に掲載されました。

運動会での珠丸君の全力の姿とみんなの活躍が思い出されます。いっぱい表現できています。みんなも感じた事・思った事をいっぱい表現しよう!



第63回南国市小学校陸上記録会に5・6年生参加!

10月19日(土)に高知県立青少年センター陸上競技場にて開催された記録会に5・6年生が参加してきました。運動会終了後から練習を始めて、少しずつ記録を伸ばしての参加でした。それぞれに素晴らしい競技姿を發揮していました。みんな素晴らしかったです。

60mハードル走 男子 6年生 東岡 由真くん 11秒61 4位入賞 おめでとう!

100m走 女子 5年生 大谷 日和さん 17秒32
中野内 愛音さん 18秒56



400mリレー 男子 奈路小・白木谷小合同チーム 1分10秒35
【1走 畠中 十和くん(白)、2走 西野 友理くん(白)、3走 白崎 拓未くん、4走 東岡 由真くん】

400mリレー 女子 奈路小・白木谷小合同チーム 1分05秒76
【1走 友野 愛理さん(白)、2走 山中 日菜子さん(白)、3走 大谷 日和さん、4走 中野内 愛音さん】

1000m走 男子 5年生 白崎 拓未くん 3分42秒9 7位入賞 おめでとう!

ボール投げ 男子 5年生 小尻 涼太くん 18m65cm

走り幅跳び 男子 6年生 東岡 由真くん 3m37cm
5年生 白崎 拓未くん 3m22cm
小尻 涼太くん 2m14cm



走り幅跳び 女子 5年生 中野内 愛音さん 2m94cm
大谷 日和さん 2m77cm



なろっこだより11号の「各種コンクールで入賞しています!!」の第41回土佐日記門出のまつり(小学生俳句)に入選「コガネムシ幸運を呼ぶ子をのこす」5年生 小尻 涼太 くんが未掲載となっていました。ここにご紹介いたします。ごめんなさい。(校長)

講演内容概要は、裏面をご覧ください。

人権教育参観日講演会 テーマ「子どもの育ちを支える大人の理解と関わり」

講師 今西 一仁 先生（兵庫教育大学非常勤講師）

1 かかわり方はとらえ方で変わる

他者を変えようとするれば抵抗が強まる。（北風と太陽） → 過去と他者には変えられない。

関わり方は、捉え方で変わる → 関わりがうまくいかなかった時は、自分の捉え方を見つめ直す機会

2 思春期をめぐる子どもの育ち

(1) 思春期の子どもの変化

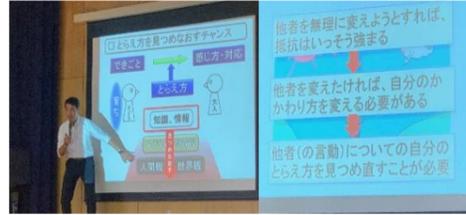
心と体の変化 さなぎ からは固く、中はぐじゃぐじゃ
最近の子供は、カラが薄く傷つきやすい。 守りが弱い

(2) 子どもの自立における愛着の大切さ

思春期の子供と向き合う大人に必要なのは、「わからなさを抱える力」

NHK スペシャル 24.5.4 生まれながらの欲求 くっついて、「安心したい」

安心して初めて、探索が始められる。 アタッチメント理論



愛着形成には、3つの基地機能が必要（安全基地・安心基地・探索基地）

「安心基地」・「安全基地」 があって、「探索基地」 が成り立つ

【安心基地】 落ち着く、ほっとする、いい気持ちになる、楽しくなるなどのポジティブな感情を抱くことのできる感情の基地

【安全基地】 恐怖、不安、怒り、悲しみなどのネガティブな感情から守ってくれる、認知と行動の基地

【探索基地】 安全・安心基地からいったん離れても大丈夫と感じられ、基地に帰ってきたときに自分の経験を報告したときに、ポジティブな感情を受け止めてくれたり不安などのネガティブな感情を軽減してくれたりする存在

① 基地機能が不安定な場合の行動特徴

【安心基地】 が不安定 → 愛情欲求行動

相手の気を引いて注目されようとアピールする

相手の反応を試す（愛情試し行動）

自分の要求が受け入れられると要求がエスカレートする

【安全基地】 が不安定 → 自己防衛

不適切な行動をしてもそれを否認したり他者のせいにししたりする

自分の言動を正当化する

問い詰めると自分に不利な記憶が消滅する（解離）

【探索基地機能】 が不安定 → 低い自己評価

行動する前に拒否し、意欲的に取り組めない

虚勢を張って人を見下し、相手より優位に立とうとする

意欲や感情にムラがある

甘えが満たされないと（ウラミ）が生じる。 自他への不信感

裏見 相手の気持ちのうらを読むとうとする。

自立とは、依存先を増やすこと サポート先を多く持つ。

「可愛げ」という強み 可愛がられ方を知ってる子

可愛げのない子 可愛がられ方を知らない → 周囲からの支援が期待できない → 周囲の大人が可愛がるしかない



(3) 子どもの仲間関係の3つの発達段階

①ギャンググループ （遊びが時代によって変化） 集団異年齢での遊び → TV ゲーム → スマホ

②チャムグループ

グループの仲間同士で固まっていたい KY（空気 読めない が いや）同調圧力 ピア・プレッシャー

③ピア・グループ 今は、形成されにくい 大学で ピアサポータを募集

◆デジタル・コミュニケーションの光と影

すぐにつながる安心・すぐにつながらない不安 → 24時間、即応性のコミュニケーション

※ 思春期のこころを育むもの

人と会っているときの感覚を、会っていないときにも、こころの中で想うことができるとき、人に対する信頼感は生まれてくる。

相手の存在を自分のこころの中に住ませるプロセスは、実際には会っていない時間に生まれる。

(2023.7.16 島根大学 岩宮恵子教授 講演より)

会えない時間が 愛そだてるのさ

目をつぶれば 君がいる（よろしく哀愁 唄:郷ひろみ 作詞:安井がずみ）



3. 子どもの育ちを支える大人のかかわり

(1) 子どもの状況を理解しようとする

とらえ方を見つめ直す

大人同士が「よかれの呪縛」に陥らない。 → 全体を見る。チームで多様な視点で支える

(2) 子どもの「リソース」(強み)を見つける

① 好きなコト語り

子どもが好きなコトを 関心をもって聞く

② リフレーミング

物事を見る角度や視点をすることで、新たな意味を見つけだすこと
否定的なとらえ方を肯定的なとらえ方に変えてみる

【具体例】 「神経質」 → 「細部にまで目が行き届くしっかり者」

「自主性がない」 → 「サポートに向いている」

「おせっかい」 → 「親切な、気配りできる」

「飽き性」 → 「前向き、いろんなことに気がつく、切り替えが早い、行動的」

③ 例外探し

否定的な状況の中で、相手が持っている少しでも肯定的な（少なくとも否定的ではない）部分（=例外）に目を向け、解決に向けた手がかりを見つけること（森, 2015）

「例外」とは、事実である。相手ができていること、相手の中にあるリソースを、事実として肯定的に伝える。

「例外」が出されたら、できるだけ具体的な経験として思い出せるよう、質問を重ねる。

「どうやってそれをやったの」と、「例外」を成功体験としてフィードバックする

「え?!できたの?!」という驚きのスキルを使うと、相手に届きやすくなる。

(3) 肯定的な（少なくとも否定的でない）コミュニケーションを心がける

① 「何を伝えたか」よりも「何が伝わったか」

言語メッセージよりも、非言語メッセージ（感情や態度）が伝わり残る。

② 思いを肯定的に伝える

Iメッセージを送ろう。YOUでなくIを主語に話す。 一番短いのは、「ありがとう」

